

化合物間相互作用に基づく過飽和溶液ならびに過冷却液体を利用した経皮製剤設計に関する研究

平川, 祐也

<https://hdl.handle.net/2324/4475098>

出版情報：九州大学, 2020, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：



氏 名	平川 祐也				
論 文 名	化合物間相互作用に基づく過飽和溶液ならびに過冷却液体を利用した経皮製剤設計に関する研究				
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	後藤 雅宏	
	副 査	九州大学	教授	神谷 典穂	
	副 査	九州大学	教授	井嶋 博之	

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、化合物間相互作用に着目し、過飽和溶液ならびに過冷却液体を利用した経皮製剤の設計を行ったものである。化合物間相互作用により、過飽和溶液、非晶質固体、過冷却液体からの結晶化を抑制することに成功し、これらを経皮製剤として利用することにより化合物の皮膚透過性の向上が可能となることが示されている。これらの成果は、優れた経皮製剤の設計に有用な知見を与えるものであり、化学システム工学上価値ある業績である。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。